

パイロットが空から学んだ危機管理術 ～ヒューマンエラー 未然防止へのヒント～

1. 目的

～安全を保つために、もっと泥臭い、現場で使える知恵を！～

一つのミスが重大な事故につながるパイロットという仕事を通じて、ヒューマンエラーを未然に防ぐための仕組みづくりを学びます。

対象者: 全職員

2. 内容

	内 容
1. 5時間 ～2時間	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事故を防ぐのは機長の態度 ✓ 尊大な機長の下で事故が起きる ✓ 機長は副操縦士が口に出しやすい雰囲気を作る ✓ 気がついたら何でもいいから口に出してください ✓ イエス・ノーで答えられない質問をする ✓ 第一声はありがとう ✓ 仕事の前のブリーフィング ✓ 感じたことを口に出す ✓ せっかく言ってくれたのに否定しない ✓ 自分が正しくないという情報こそ重要 ✓ 自分に都合の良い解釈をするな ✓ 「しまった」と思って何とかしようと思うと大失敗する。どうしたら定められた手順を守らせることができるか。犯人は手順を作る側にある。 ✓ 事故対策は時限立法 ✓ 暗黙の指示をしない ✓ 言い訳有用 ✓ なんとなく変だと思ったら必ず確認しよう ✓ 2つ重なったら危険 ✓ 2ついいことはない ✓ 判断が正しいかを検証しよう

3. 講師プロフィール



さか い ゆう き
坂井 優基

現役機長。747機長として世界38カ国以上をフライトする。現在は他機種にて主に国内線を飛行する。飛行時間は1万8千時間以上。指導機長、教官として多くの機長、副操縦士を育てる。ジャンボ機長の危機管理術、機長の判断力、ジャンボ機長の状況判断術、パイロットが空から学んだ危機管理術など安全を主テーマに多くの著書がある。

「一人でも多くの方が助かること」を目標に、安全をテーマに、名古屋市(中川区役所)、名古屋市西部医療センター、名古屋市立大学病院、名古屋市医師会、日本周産期・新生児学医学会、豊川市民病院、中部電力、東京都、三重県庁、司法研修所、などで数多くの講演を行う。